

# 鳥取県の推計人口（年報）

【平成30年10月1日現在】

鳥取県人口移動調査において、1年間（平成29年10月～平成30年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

## 1 鳥取県の推計人口

推計人口は560,517人、前年に比べ4,716人減少し、平成8年から23年連続の減少となった。

平成30年10月1日現在の推計人口は、560,517人で、前年に比べ4,716人減少し、世帯数は、219,288世帯で、前年に比べ557世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 （男性/女性：100）	世帯数（世帯）	1世帯当たりの 人員（人）
	総数	男	女			
平成30年(a)	560,517	267,885	292,632	91.5	219,288	2.56
平成29年(b)	565,233	270,049	295,184	91.5	218,731	2.58
対前年(a-b)	-4,716	-2,164	-2,552	0	557	-0.02

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.7%、生産年齢人口は55.8%で過去最低、老年人口は31.5%で過去最高となった。

年齢3区分別の人口構成割合を前年と比べると、年少人口は1,058人減少し、生産年齢人口は5,485人減少した。一方、老年人口は1,827人増加した。

区分	人口（人）	構成（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	70,708	12.7	-1,058	-0.1
生産年齢人口（15～64歳）	310,057	55.8	-5,485	-0.5
老年人口（65歳以上）	175,389	31.5	1,827	0.6
うち75歳以上	92,327	16.6	693	0.3
県全体人口	560,517	100.0	-4,716	—

注1) 県全体人口は年齢不詳（4,363人）を含む。

注2) 構成比は県全体人口から年齢不詳を除いて算出。

## 2 人口動態

自然動態、社会動態ともに減少し、人口増減は前年に比べ370人減少数が拡大した。

人口増減では、自然増減が3,031人、社会増減が1,685人の減少で、4,716人の減少となり、前年に比べ370人減少数が拡大した。

(単位:人)

区分	人口増減	自然増減	出生		死亡	社会増減	県外転入	県外転出
			出生	死亡				
平成30年(a)	-4,716	-3,031	4,295	7,326	-1,685	9,860	11,545	
平成29年(b)	-4,346	-3,195	4,272	7,467	-1,151	10,119	11,270	
対前年(a-b)	-370	164	23	-141	-534	-259	275	

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

自然増減数は、3,031人減少し、21年連続の減少となった。

出生数は4,295人で前年に比べ23人増加し、死亡数は7,326人で前年に比べ141人減少した。

月別では、出生数は10月が384人、死亡数は1月が754人と最も多く、すべての月で死亡数が出生数を上回って人口減少した。(最大減少月1月、394人)

**社会増減数は、1,685人減少し、18年連続の減少となった。**

県外転入者数は9,860人で前年に比べ259人減少し、県外転出者数は11,545人で前年に比べ275人増加した。年齢5歳階級別では、65～69歳が37人と最も増加し、20～24歳が1,034人と最も減少した。

区分	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
県外転入	641	369	169	625	1,865	1,701	1,188	886	665	494	355	274	202	165	68	193
県外転出	605	386	214	938	2,899	1,806	1,251	972	702	542	381	262	168	128	67	224
社会増減数	36	-17	-45	-313	-1,034	-105	-63	-86	-37	-48	-26	12	34	37	1	-31

(単位:人)

### 3 市町村別推計人口

**推計人口が最も多いのは鳥取市の190,090人、最も少ないのは江府町の2,790人**

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の190,090人、次いで米子市の148,262人となり、最も少なかったのは江府町の2,790人、次いで日野町の2,994人となった。

**年少人口割合は前年に比べ4町村で上昇、生産年齢人口割合は前年に比べ全市町村で低下  
老年人口は前年に比べ11市町で増加、老年人口割合は前年に比べ全市町村で上昇**

年少人口割合は前年に比べ若桜町、湯梨浜町、日吉津村及び大山町で上昇し、鳥取市など12市町で低下した。

生産年齢人口割合は鳥取市が58.4%と最も高く、次いで米子市の57.6%となった。生産年齢人口割合は前年と比べ全市町村で低下した。

老年人口割合は日南町が52.1%と最も高く、次いで日野町が49.8%となった。老年人口割合は前年と比べ全市町村で上昇した。

区分	人口構成状況
年少人口割合(0～14歳)	[上昇] 若桜町、湯梨浜町、日吉津村、大山町 [同水準] 八頭町、南部町、伯耆町 [低下] 上記を除く、12市町
生産年齢人口割合(15～64歳)	[低下] 全市町村
老年人口割合(65歳以上)	[上昇] 全市町村

### 4 市町村人口動態

**日吉津村を除くすべての市町で人口が減少**

人口増減は、日吉津村が74人増加したが、その他の市町で減少し、最も減少したのは鳥取市の1,151人、次いで倉吉市が541人減少した。

**自然増減数は日吉津村を除くすべての市町で減少**

日吉津村が15人増加したが、その他の市町で減少し、最も減少したのは鳥取市の765人、次いで米子市が362人減少した。

**社会増減数は湯梨浜町及び日吉津村を除く市町で減少**

日吉津村で59人増加、湯梨浜町で58人増加したが、その他の市町で減少し、最も減少したのは鳥取市が746人、次いで倉吉市が239人減少した。

**県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への694人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への619人**

県外転入者は島根県から米子市への694人が最も多く、次いで大阪府から鳥取市への370人であった。

県外転出者は米子市から島根県への619人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への515人であった。

(単位：人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	1,252	694	248	128	182	1,248	619	284	119	226
大阪府	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	975	370	241	96	268	1,302	515	352	94	341
岡山県	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	904	323	314	111	156	1,018	366	331	76	245

## 5 外国人の推計人口・人口動態

**推計人口は6,346人で、前年に比べ361人増加し、3年連続の増加となった。**

平成30年10月1日現在の推計人口は、6,346人で、前年に比べ361人増加し、3年連続の増加となった。男女別人口は、男性2,552人、女性3,794人となった。

市町村別の推計人口は、鳥取市の1,809人（男性867人、女性942人）が最も多く、次いで米子市の1,668人（男性624人、女性1,044人）であった。

**県外転入者数は1,406人、県外転出者数は1,050人で、転入超過数は356人**

自然動態をみると、出生数は12人（男性6人、女性6人）、死亡数は18人（男性7人、女性11人）であった。

社会動態をみると、県外転入者数は1,406人（男性611人、女性795人）、県外転出者数は1,050人（男性413人、女性637人）で、転入超過数は356人（男性198人、女性158人）であった。

市町村別の県外転入者数は、鳥取市426人（男性230人、女性196人）が最も多く、次いで米子市の270人（男性124人、女性146人）であった。県外転出者数は、鳥取市の387人（男性179人、女性208人）が最も多く、次いで境港市の152人（男性44人、女性108人）であった。